

2018年春期入学者：みなし単位認定科目一覧

※対象者の学年は、2018年春期時点です

資格、成績等	開講期	対象学年	科目	申請書類
<p>下記いずれかの検定試験結果に加え、 英語圏での居住経験、職務経験、海外留学等の経験を有すること</p> <p>TOEIC 860以上 (IPテストも可)</p> <p>TOEFL IBT 100以上 TOEFL CBT 250以上 TOEFL FBT 600以上 英検 準一級以上</p>	春秋	本科生 2年次編入生 3年次編入生	<ul style="list-style-type: none"> ● 「English Composition」 「English Conversation I」 (2科目4単位) ● 「English Pronunciation」 「English Conversation II」 (2科目4単位) 	<p>下記すべて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 単位認定申請書 2. 検定試験結果、合格証書の写し 3. 学修・経験に関する資料 <p>【必須】 英語圏での居住・就業、海外留学等の経験 (a～cのいずれか) を示す書類又は内容を記した文書</p> <p>(a) 英語圏での居住経験 (家族の駐在 等) (b) 英語圏との職務経験 (会社の出張 等) (c) 海外教育機関での課程履修 (留学 等)</p> <p>【受験歴がある場合のみ】 TOEIC (SW) 等のスピーキング試験の試験</p>
ウェブデザイン技能検定 3級以上	春秋	本科生 2年次編入生 3年次編入生	ウェブサイトデザイン (2単位)	<p>下記すべて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 単位認定申請書 2. 検定試験結果・資格取得がわかる書類の写し (合格証書、基準点以上を証明する書類の写し等)
<p>下記いずれかの資格、試験結果</p> <p>Java™プログラミング能力認定試験： 3級～1級</p> <p>Oracle Certified Java Programmer, Bronze SE 7/8 Oracle Certified Java Programmer, Silver SE 7,8 Oracle Certified Java Programmer, Gold SE 7,8 Oracle 認定 Java アソシエイツ Oracle 認定 Java プログラマ SE 5 Oracle 認定 Java プログラマ SE 6</p>	春秋	本科生 2年次編入生 3年次編入生	<ul style="list-style-type: none"> ● プログラミング入門 (1単位) ● プログラミング実践 (1単位) 	<p>下記すべて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 単位認定申請書 2. 検定試験結果・資格取得がわかる書類の写し (合格証書、基準点以上を証明する書類の写し等)
<p>下記いずれかの検定試験結果に加え、 英語圏における3年以上の職務経験を有すること</p> <p>TOEIC 900以上 (IPテストも可)</p> <p>TOEFL IBT 105以上 TOEFL CBT 260以上 TOEFL FBT 620以上 英検 一級</p>	春秋	2年次編入生 3年次編入生	<ul style="list-style-type: none"> ● 「Business English Basics」 「English Conversation V」 (2科目4単位) ● 「Business English Reading」 「English Conversation VI」 (2科目4単位) ● 「Business English Speaking」 「English Conversation VII」 (2科目4単位) 	<p>下記すべて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 単位認定申請書 2. 検定試験結果、合格証書の写し 3. 学修・経験に関する資料 <p>【必須】 英語圏における3年以上の職務経験 (海外赴任等) を示す書類又は内容を記した文書</p> <p>【受験歴がある場合のみ】 TOEIC (SW) 等のスピーキング試験の試験</p>

英語科目の注意事項

- ・検定試験結果の取得時期は問いません。
- ・経験・学修について正式な証明書等がない場合には、当該経験について具体的な内容を記した文書を作成し、提出してください。
- ・基準点に満たない場合や、その他の類似検定試験の資格や成績をもつ場合も、申請は受け付けます。
- ・基準点をクリアしている申請であっても、審査の結果、確認のためのテストを課す、または認めない場合もあります。